

あなたのNISAに「世界のベスト」

新 N I S A



インベスコ・アセット・マネジメント

インデックス運用とアクティブ運用はどう違う？







インデックスとアクティブの比較例



写真に
残そう

インデックス運用

アクティブ運用

 手数料	低い	高い
 市場を上回るパフォーマンス	なし	あり (逆に下回ることもある)
 運用の柔軟性	なし	あり
 組入銘柄の分散	時価総額の大きい銘柄に偏る直近ではGAFAMで15%を超える	分散が可能 (ファンドによっては集中投資するものもあり)

クレジットカードを何枚持っていますか？



インベスコ 世界厳選株式オープン

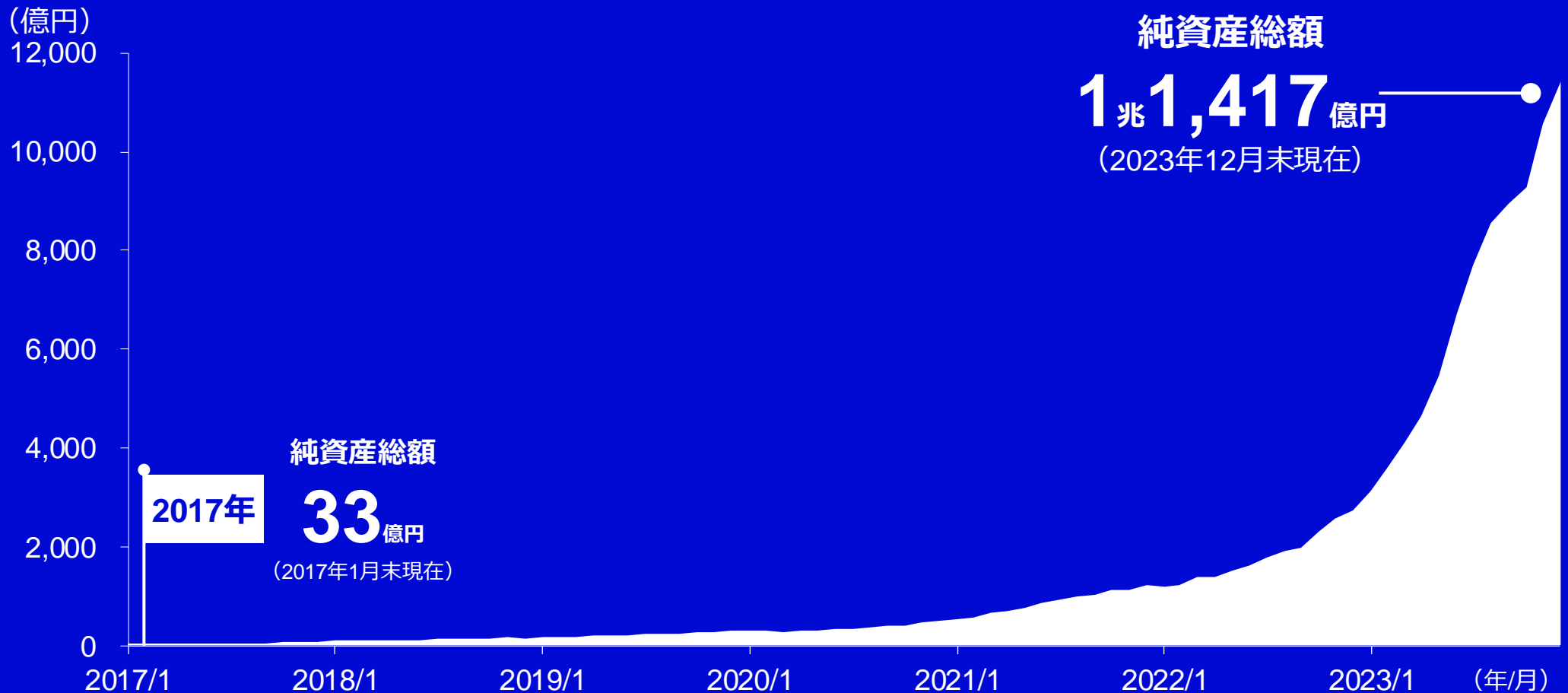
<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
<為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)

愛称：世界のベスト



2023年の純資金流入ランキング第1位

世界のベストの純資産総額（6ファンド合計）の推移



出所：インベスコ、モーニングスター・ダイレクト。グラフ期間：2017年1月末～2023年12月末、月次データ。2023年の純資金流入第1位は、〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）の2023年年間の公募追加型投資信託（ETFを除く）における順位。分析ツールのモーニングスター・ダイレクトのデータから2024年1月4日現在において確認可能な情報で比較したものです。知的財産権はモーニングスターに帰属します。純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。純資産総額のデータは、〈為替ヘッジあり〉（毎月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）、〈為替ヘッジあり〉（年1回決算型）/〈為替ヘッジなし〉（年1回決算型）および〈為替ヘッジあり〉（奇数月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（奇数月決算型）の合計です。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。当資料では、「インベスコ世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（毎月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）」、「インベスコ世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（年1回決算型）/〈為替ヘッジなし〉（年1回決算型）」および「インベスコ世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（奇数月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（奇数月決算型）」を総称して「世界のベスト」もしくは「当ファンド」という場合があります。また、決算頻度に応じてそれぞれ「毎月決算型」、「年1回決算型」、「奇数月決算型」、為替ヘッジの有無に応じてそれぞれ「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

株式投資の王道 | 3つの柱

世界のベストに厳選投資



写真に
残そう

- 日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自の視点で厳選した世界のベストと考える銘柄に投資を行います。
- 「成長」+「配当」+「割安」の3つの観点に着目して投資を行うことを、当ファンドでは「株式投資の王道」と考えています。



高い競争優位性、
健全な財務体質を有し、
景気動向に左右されずに
成長が期待できる企業

+



継続的な配当や増配などの
質の高い配当を行うことが
期待できる企業

+



企業の本質的価値に比べて、
長期的視点から見た株価水準
が割安であると判断する企業

顔が見える運用



スティーブン・アネス

運用責任者 ポートフォリオ・マネジャー
兼グローバル株式チーム・ヘッド

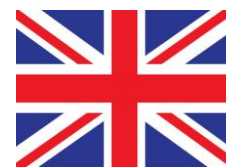
当社グループ在籍 21年
業界経験年数 21年

2023年12月末現在



写真に
残そう

運用拠点は英国のヘンリー



ヘンリー・オン・テムズ

Henley-on-Thames



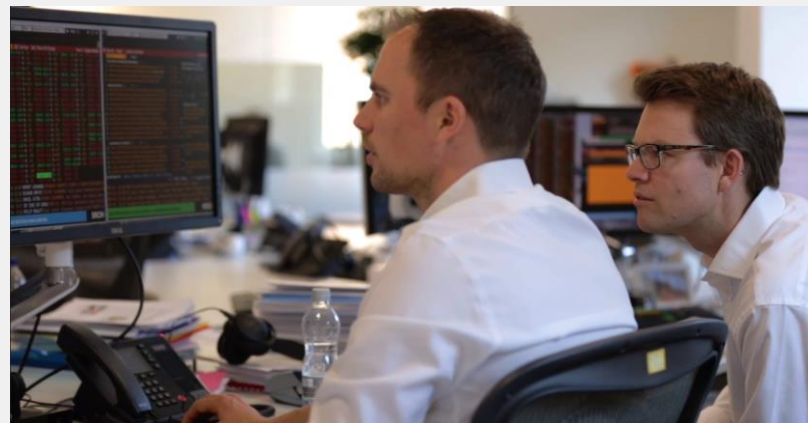
ロンドン

英国のヘンリー拠点

大学のキャンパスのようなオフィス外観



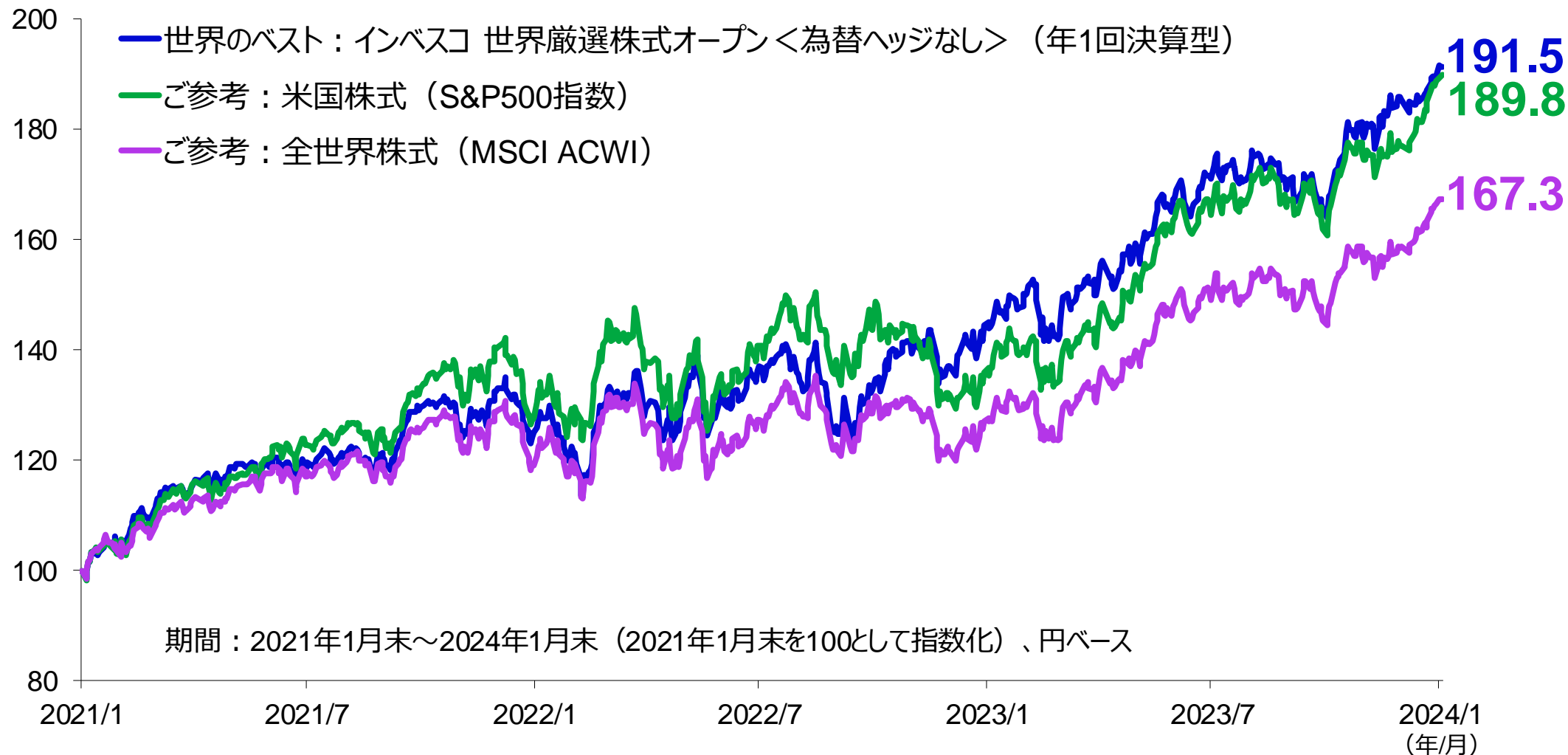
気軽にコミュニケーションが取れる環境



多様なバックグラウンドを持つ
運用チームのメンバー

インデックスとのパフォーマンス比較 3年間

米国株式、全世界株式を上回るパフォーマンスを実現



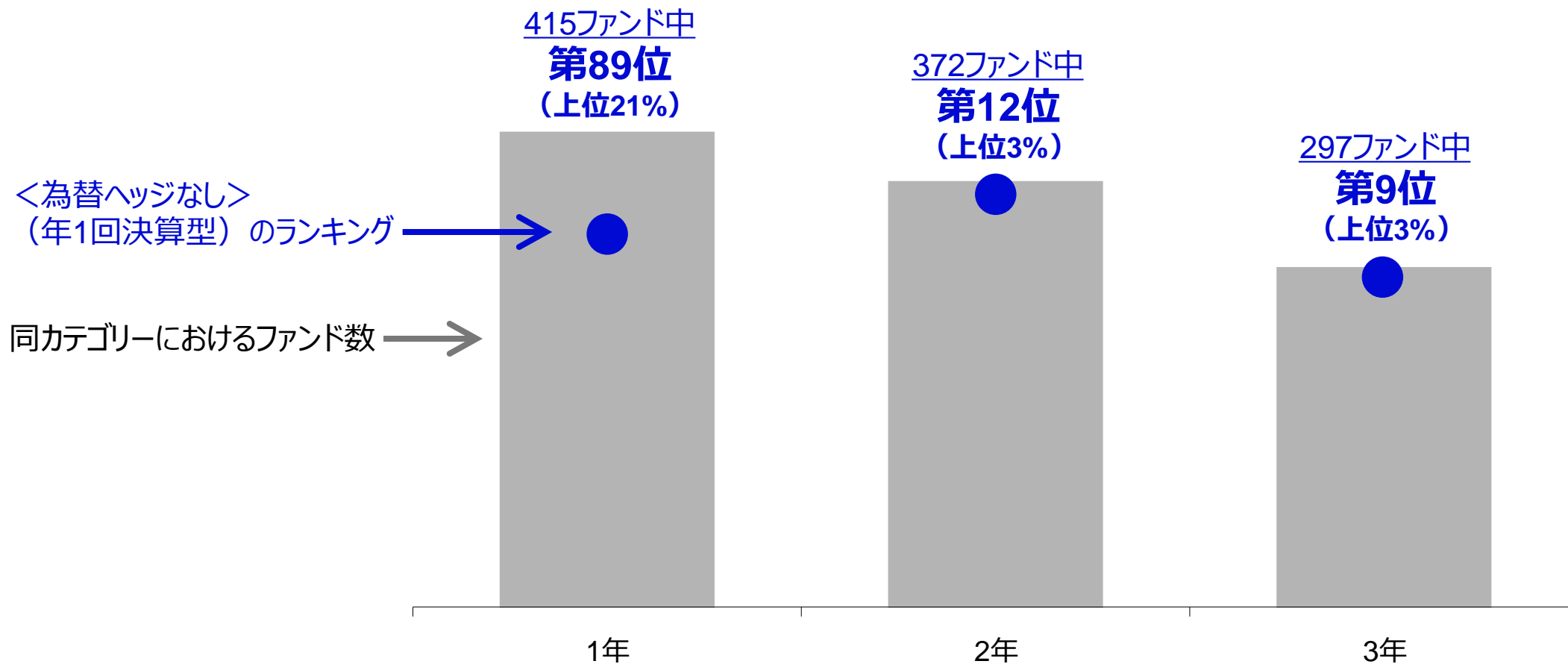
出所：ブルームバーグ、インベスコ

世界のベストは、基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用しています。インデックスは、いずれも税引き後配当込み（円ベース）を使用し、ファンドの基準日の前日の数値を用いています。インデックスは、グラフ期間中における株式市場の動向を示す目的でご参考として掲載しています。世界のベストのベンチマークではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

同カテゴリー・ファンドとのパフォーマンス比較

競合ファンドとの比較ではトップクラスの実績

モーニングスターカテゴリー・ランキング 2023年12月末現在



出所：インベスコ、モーニングスター・ダイレクト

上記は、分析ツールのモーニングスター・ダイレクトが分類する「日本 オープンエンド - 外国株式・世界」カテゴリー内の為替ヘッジなしのファンドを対象として、2024年1月9日現在において確認可能な情報で比較したものです。知的財産権はモーニングスター・インクに帰属します。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

2023年 パフォーマンスに貢献した銘柄

市場とは差別化された厳選銘柄によりリターンを獲得

マグニフィセント7（GAFAM & テスラ、エヌビディア）

世界のベスト

2023年のリターン **35.4%**

市場：世界株式

2023年のリターン **32.2%**

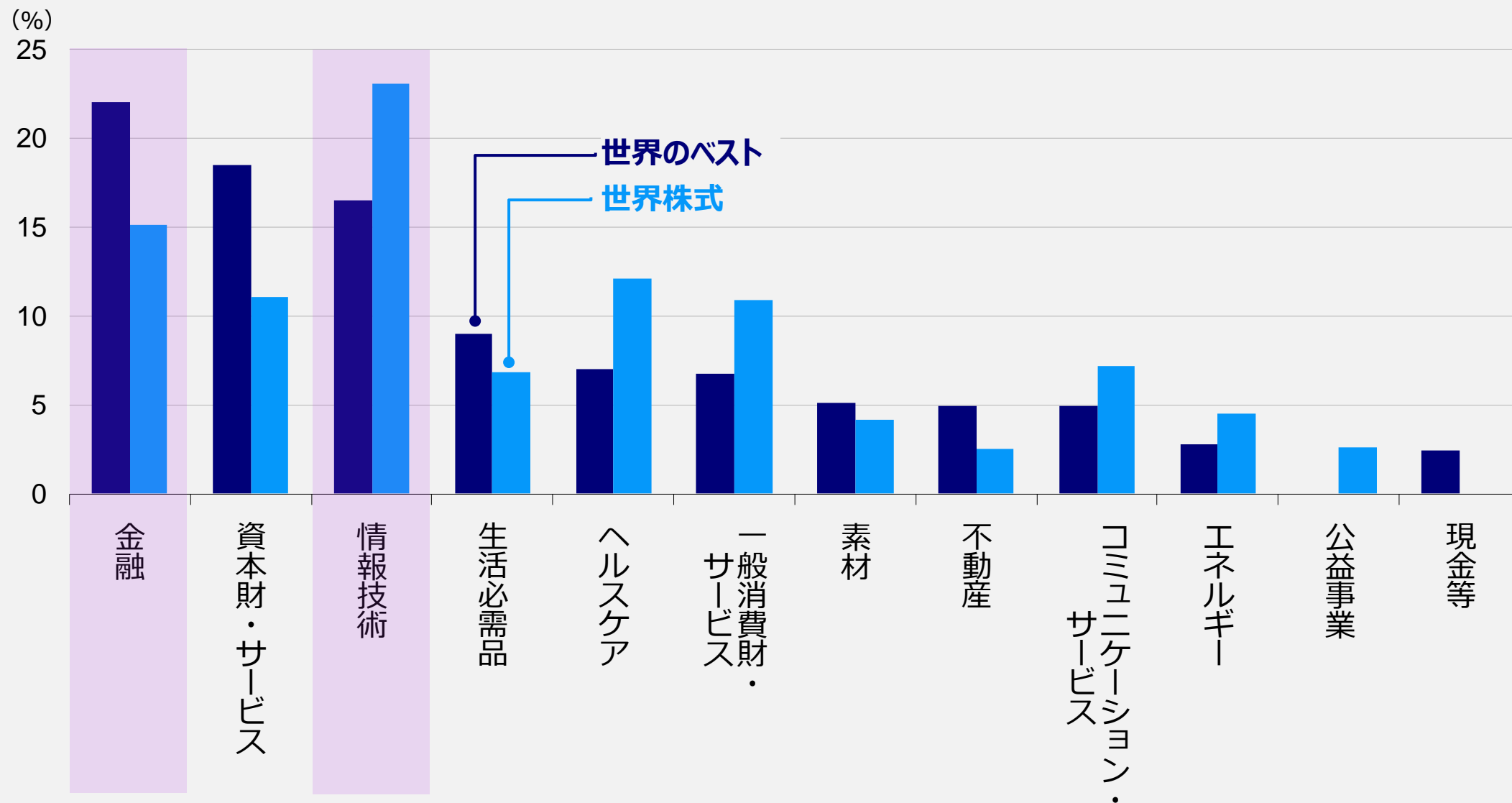
銘柄名	国	業種
1 3iグループ	英国	金融
2 ブロードコム	米国	情報技術
3 マイクロソフト	米国	情報技術
4 BEセミコンダクター・インダストリーズ	オランダ	情報技術
5 エヌビディア	米国	情報技術
6 KKR & Co Inc	米国	金融
7 ロールス・ロイス・ホールディングス	英国	資本財・サービス
8 ベラリア	フランス	素材
9 セラニーズ	米国	素材
10 ファーガソン	米国	資本財・サービス

銘柄名	国	業種
1 アップル	米国	情報技術
2 マイクロソフト	米国	情報技術
3 エヌビディア	米国	情報技術
4 アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス
5 メタ・プラットフォームズ	米国	コミュニケーション・サービス
6 テスラ	米国	一般消費財・サービス
7 アルファベットA	米国	コミュニケーション・サービス
8 アルファベットC	米国	コミュニケーション・サービス
9 ブロードコム	米国	情報技術
10 イーライリリー	米国	ヘルスケア

出所：インベスコ、FactSet GAFAM；グーグルの親会社アルファベット（Google）、アップル（Apple）、フェイスブック（Facebook）、アマゾン・ドット・コム（Amazon）、マイクロソフト（Microsoft）の5社の頭文字を組み合わせた造語。フェイスブックは2021年10月にメタ・プラットフォームズに社名変更しました。世界株式は、MSCIワールド・インデックスを使用。銘柄名の後に記載のA、Cは、議決権数の違い等による議決権種類株式の種別を示します。世界のベストの銘柄情報は、マザーファンドのデータを使用。2023年のリターン：世界のベストは＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用、世界株式はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ベース）を使用し、ファンドの基準日の前日の数値を用いています。上記の貢献した銘柄のデータは、世界株式との相対比較ではなく絶対値ベース寄与度の上位銘柄。国は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。ベンチマークは、＜為替ヘッジあり＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）、＜為替ヘッジなし＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

セクター配分

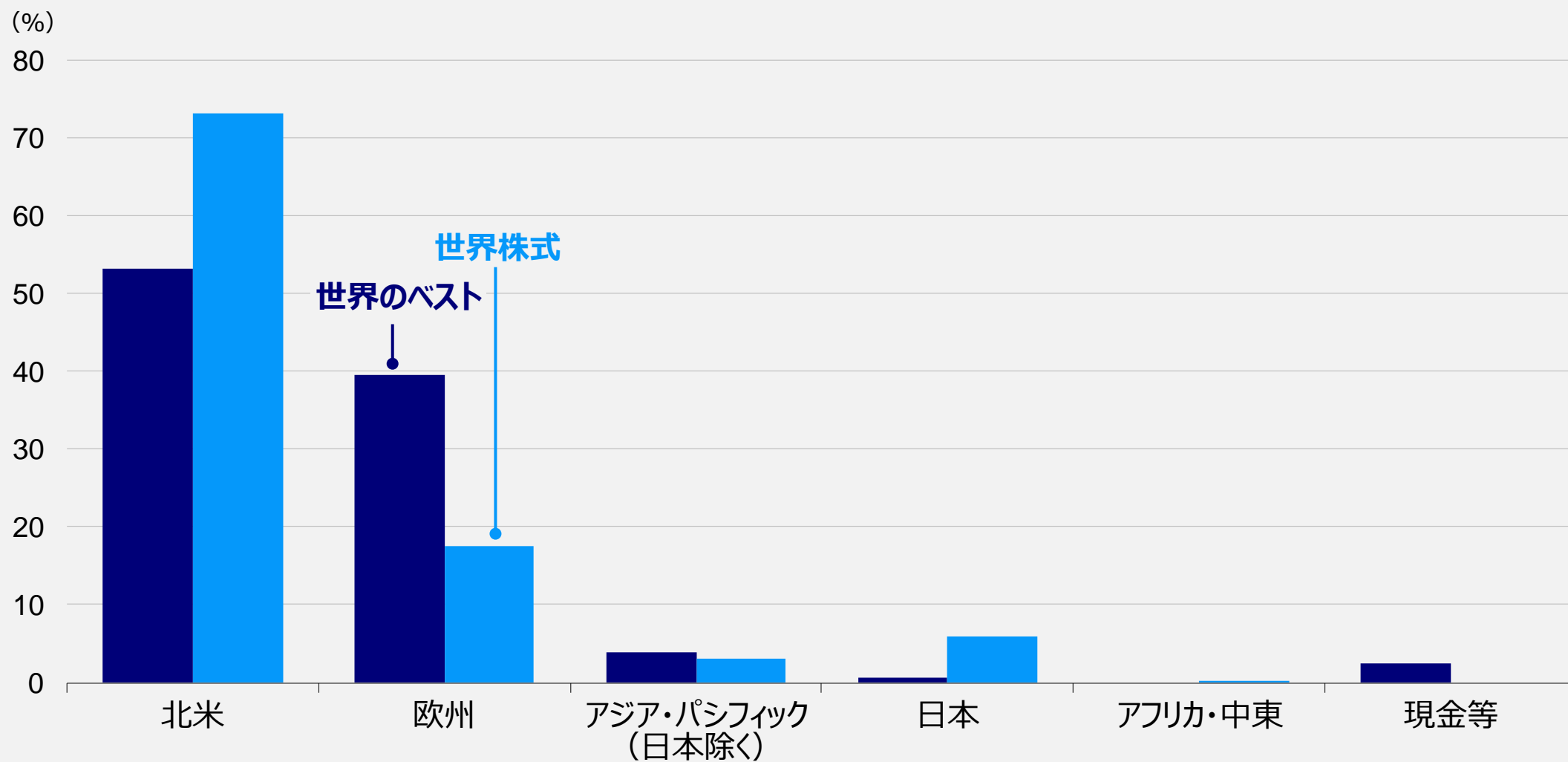
金融をオーバーウェイトとする一方、情報技術をアンダーウェイト



出所：インベスコ、FactSet 2023年12月末現在 世界株式：MSCIワールド・インデックス 当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。当ファンドの比率はマザーファンドの対純資産比率のデータです。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。

地域別配分

配当、割安の観点で優位にある欧州をオーバーウェイト

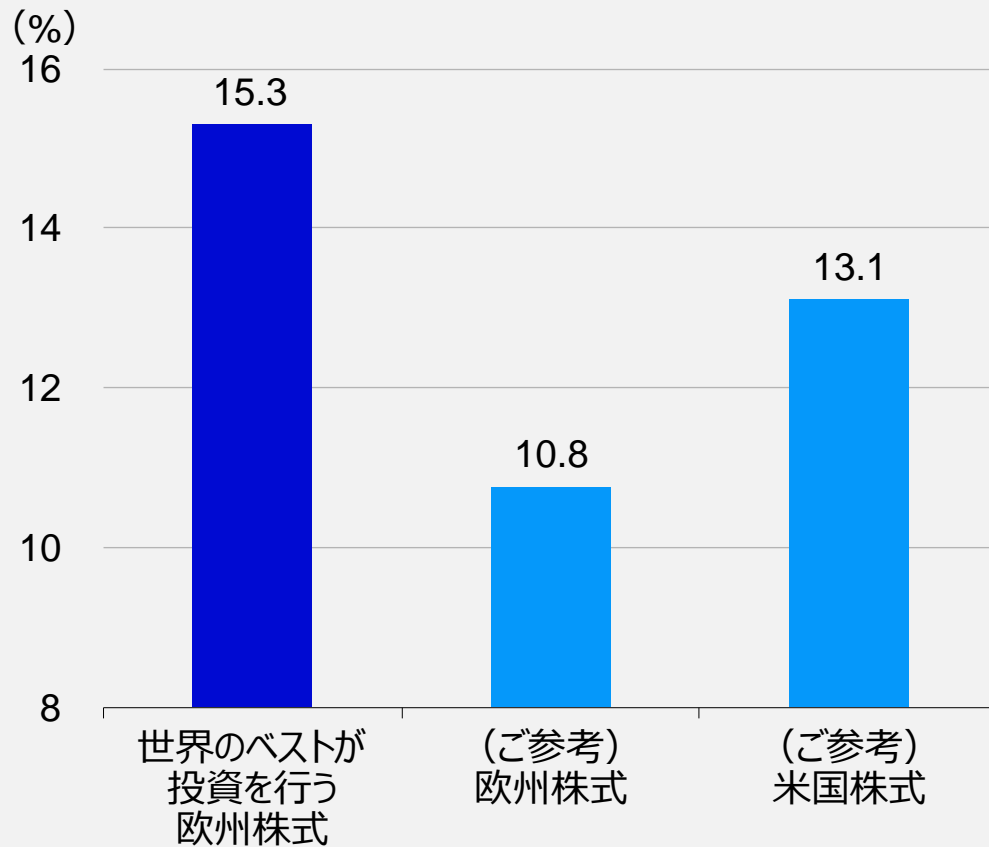


出所：インベスコ、FactSet 2023年12月末現在 世界株式：MSCIワールド・インデックス 世界株式の欧州には、アフリカ・中東が含まれます。
当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。当ファンドの比率はマザーファンドの対純資産比率のデータです。国・地域は発行体の国籍（所在国）などで区別しています。
四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。

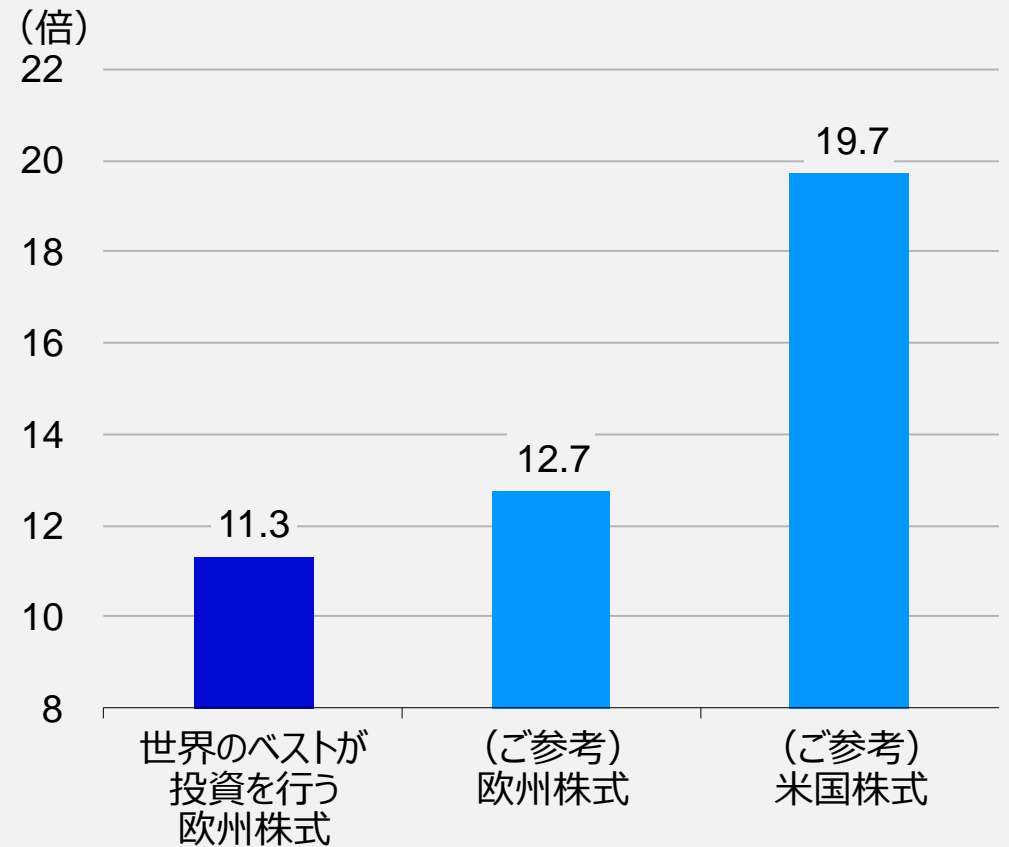
地域別配分 | 欧州

利益成長率が米国市場より高く、バリュエーションが欧州市場より低い欧州銘柄に投資

予想1株当たり利益成長率



予想株価収益率 (PER)



出所：インベスコ、FactSet 2023年12月末現在 予想1株当たり利益成長率：3-5年先の予想EPS Growthの値を使用 予想株価収益率：1年先の予想1株当たり利益に基づく値を使用

欧州株式：MSCI Europe Index 米国株式：S&P500

上記はマザーファンドのデータを使用しています。世界のベストが投資を行う欧州株式の特性値は、マザーファンドの組入有価証券の比率で加重平均した値です。欧州株式および米国株式の特性値は、指数の構成比率で加重平均した値です。MSCI Europe IndexおよびS&P500は、世界のベストのベンチマークではありません。市場動向をご理解いただく目的でご参考として掲載しています。上記は過去の予想データであり、将来の成果を保証するものではありません。

組入銘柄のご紹介①

3iグループ

英国/金融



非上場の企業を中心に運用する投資会社。保有する最大の資産がオランダの雑貨・食品ディスカウントチェーンの「アクション」(Action)。

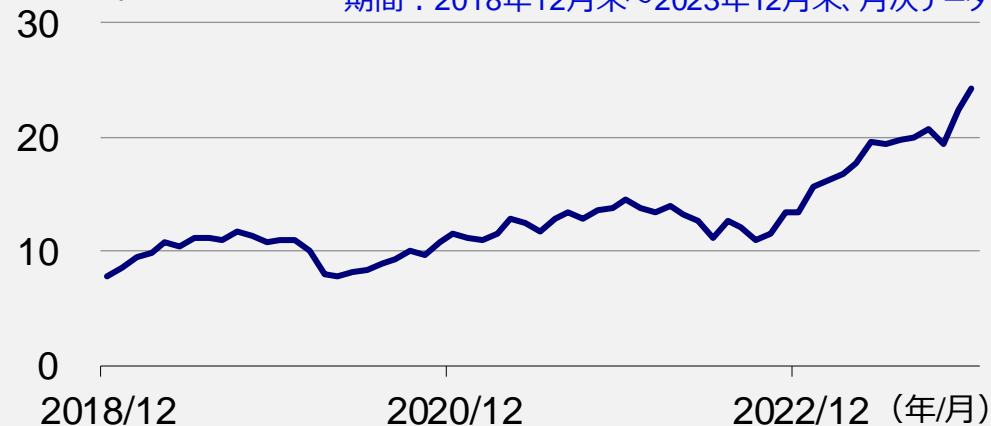
投資の着目点

保有している「アクション」は、主に欧州で約2,200店舗を運営(2022年現在)。質の高い事業を展開しており、顧客満足度が高く、長期的な成長により、10,000店舗に拡大余地があると見込む。

ご参考：株価の推移

(英ポンド)

期間：2018年12月末～2023年12月末、月次データ



出所：インベスコ、ブルームバーグ、企業公開情報 国・地域は、発行体の国籍(所在国)などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は2023年12月末時点および過去における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。



組入銘柄のご紹介②

レキットベンキーザー・グループ



英国/生活必需品

世界で幅広い家庭用品、トイレタリー用品、ヘルスケア用品などを製造・販売する日用品・医薬品メーカー。

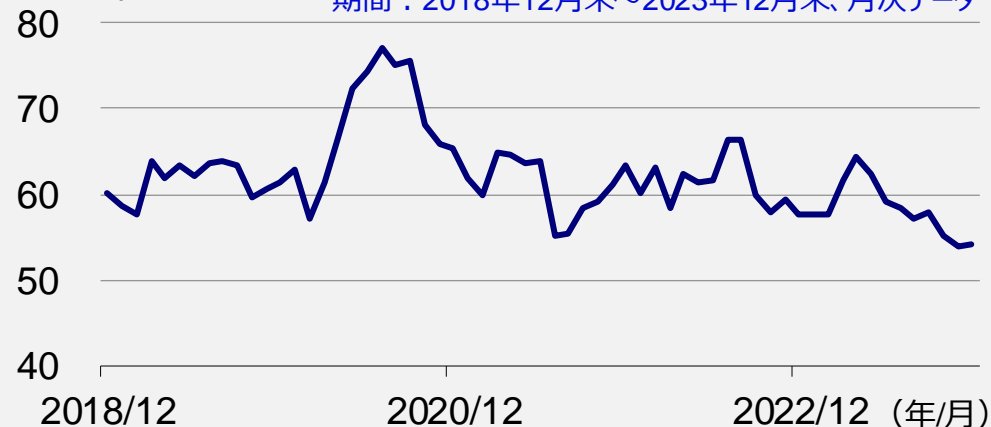
投資の着目点

薬用石鹸「ミューズ」やにきび治療薬「クリアラシル」、フットケア製品「メディキュット」といった強力なブランド・ラインナップにより、グローバル市場において強固なポジションを確立している点を評価。

ご参考：株価の推移

(英ポンド)

期間：2018年12月末～2023年12月末、月次データ



出所：インベスコ、ブルームバーグ 国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は2023年12月末時点および過去における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。



あなたに合った「世界のベスト」は？



写真に
残そう

NISA「成長投資枠」対象



為替ヘッジあり

毎月決算型

<為替ヘッジあり>
(毎月決算型)

年1回決算型

<為替ヘッジあり>
(年1回決算型)

奇数月決算型

<為替ヘッジあり>
(奇数月決算型)

為替ヘッジなし

<為替ヘッジなし>
(毎月決算型)

<為替ヘッジなし>
(年1回決算型)

<為替ヘッジなし>
(奇数月決算型)

あなたの
NISAに
「世界のベスト」





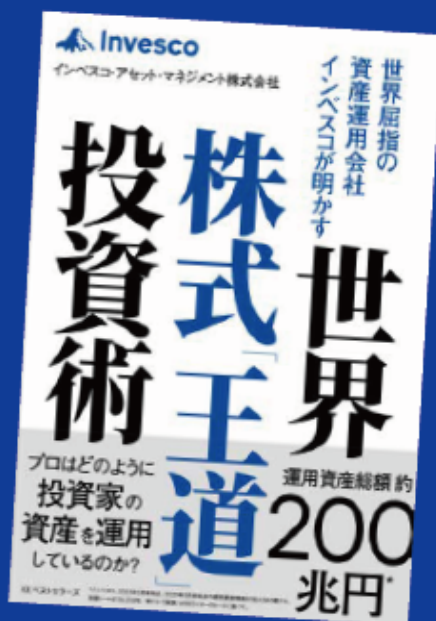
＼インベスコのブースにお立ち寄りください／

インベスコのSNSを

新規フォローで

書籍をプレゼント!

(先着順)



世界株式「王道」投資術

インベスコの
SNS



X (旧Twitter)



Facebook



LINE



YouTube

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク	〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。
信用リスク	発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。 ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。
為替変動リスク	〈為替ヘッジあり〉為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。 為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。 〈為替ヘッジなし〉為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。 為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

- ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

投資信託に関する留意点

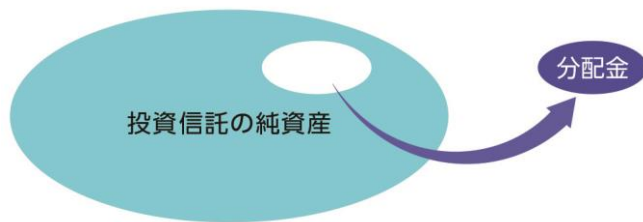
- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入る有価証券等の売買が行われた場合などには、組入る有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

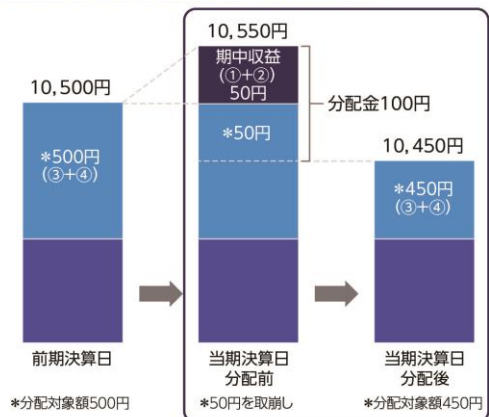
投資信託で分配金が支払われるイメージ



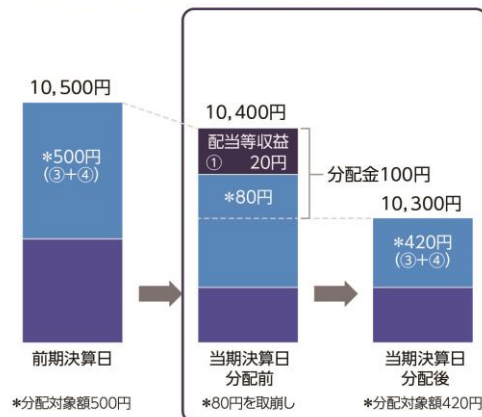
■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



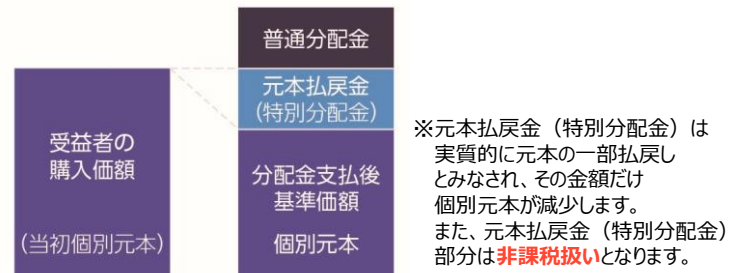
■ 前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

■ 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

ファンドの費用／委託会社、その他の関係法人

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が定める 3.30% (税抜3.00%) 以内 の率を乗じて得た額
信託財産留保額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.30% の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.903% (税抜1.73%) を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。
その他の費用・ 手数料	・組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ・監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して 年率0.11% (税抜0.10%) を上限 として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。

※上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人

委託会社(設定・運用など)	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
受託会社(投資信託財産の管理など)	三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)
販売会社(受益権の募集・販売の取り扱いなど)	販売会社については、<ファンドに関する照会先>にお問い合わせください。

<ファンドに関する照会先>

ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせダイヤル 電話番号：03-6447-3100【受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです】
ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

モーニングスター・ダイレクトを出所とするデータについて

©2024 Morningstar, Inc. All rights reserved. The information contained herein:(1) is proprietary to Morningstar and/or its content providers; (2) may not be copied or distributed ; and (3) is not warranted to be accurate, complete, or timely. Neither Morningstar nor its content providers are responsible for any damages or losses arising from any use of this information. Past performance is no guarantee of future results.

ベンチマークについて

<為替ヘッジあり>はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）※1、<為替ヘッジなし>はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）※1をベンチマーク※2とします。

※1 ◇MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）で独自に円換算したものです。◇MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が算出する株式インデックス（指数）の一つです。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。◇この情報はMSCI Inc.の営業秘密であり、またその著作権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。また、ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。◇MSCIワールド・インデックスの構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。したがって、ファンドの投資対象国および投資対象銘柄は事前の予告なく変更されることがあります。

※2 ベンチマークとは、ファンドのパフォーマンス評価やポートフォリオのリスク管理を行う際の基準となる指標のことです。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を得ることを目的としていますが、ベンチマークを上回る投資成果をあげることを保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込みは

設定・運用は

SBI証券

商号等 株式会社SBI証券
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

インベスコ・アセット・マネジメント

商号等 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

SBI証券からのご留意事項

- 本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。SBI証券は、セミナー及び資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。また、過去の実績や予想等は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。商品ご購入の最終決定は、商品の内容、リスク及び費用等を十分ご理解いただきましたうえで、お客様ご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。
- ご投資にあたっては、商品概要や目論見書（目論見書補完書面）をよくお読みください。
- SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

SBI証券

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本STO協会、日本商品先物取引協会